

# human

No235

2011/11

医療を通じて人と人とのふれあいを広めるために  
ヒューマン(人)と名付けました。



「市民公開講座」

- |             |         |   |
|-------------|---------|---|
| 救急指定・労災指定病院 | さくら総合病院 | 愛知県丹羽郡大口町新宮1-129<br>(0587)95-6711(代)          |
| 老人保健施設      | さくら荘    | 愛知県丹羽郡大口町新宮1-96<br>(0587)95-6722              |
| 訪問看護ステーション  | あすかビレッツ | 愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内)<br>(0587)95-8623      |
| ヘルパーステーション  | あすかビレッツ | 愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内)<br>(0587)95-8026      |
| 居宅介護支援事業所   | あすかビレッツ | 愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内)<br>(0587)95-8027      |
| デイケアセンター    | 御 嶽     | 愛知県丹羽郡大口町新宮1-129(さくら総合病院2F)<br>(080)5294-5728 |
| 有料老人ホーム     | 太郎と花子   | 愛知県丹羽郡大口町新宮1-10<br>(0587)95-0111              |



<http://www.ijinkai.or.jp>

E-mail: [info@ijinkai.or.jp](mailto:info@ijinkai.or.jp)



## 外へ向かえ！

外科部長 小林 豊

当院は1980年に開院して以来、この30年間、他の医療施設が嫌がることを率先して遂行してきた。このポリシーを下に、これまで他の医者が嫌がる夜間・休日の診療を積極的に行い、一台も救急車を断ることなく、世の中困った人の為に尽くし、採算度外視で交通事故現場や防災現場に職員を挙げて奔走し、警察から要請される死体検案への協力や死亡後画像診断をいち早く導入するなど、亡くなった方への畏敬を重んじ、文字通り全人的な医療を展開して来た。

このような地道な努力は、テレビに取り上げられるでも、新聞の紙面を飾るわけでもなく、一部の理解者にのみ評価されて来た。もちろんその業務は崇高な意思の下になされ、賛同する職員の下士気を高めて来た。しかしながら、この我々のポリシーは市民の多くは知る由もなく、広く評価されるものではなかった。そもそも当院の所在地も知らない近隣の市町村の市民もいる。当院は類い稀な趣向を凝らした建物にも関わらず、それが病院であるということすら認識されていないことが多かった。

私はこの4月に赴任して来て間もなく、救急で運ばれてくる患者さんやそのご家族が「こつて病院だったんですね。毎日通勤でこの国道41号を通っていましたが、知りませんでした。」というのを一度や二度でなく聞き、これは当院はもつと外にアピールしなくては、もつと認知度を上げなくては、と痛烈に感じた。そこで、まず病院の角に大きな高い看板を立てることにした。皆さんお気づきであらうか？これにより、この看板に目が行きさえすれば、ここに病院がある、ということとは認識してもらえないのではないだろうか。

看板は病院が外に向かつて発信する存在のアピールで

あるが、まだ敷地を出たものではない。やはり病院が外に出て行き、市民にアクションを起こして行くべきではないか、と私は考えた。そこで、医療連携会議で私が打ち出したのが、「市民公開講座」である。多くのメジャーな病院が市民公開講座を行ってはいるが、多くはがん拠点病院などの認可をとるための要件のために仕方がなくやっているものである。病院の小さな会議室で形ばかりやっていることにしている施設すらある。しかしながら、私が当院から発信して行きたいものは、もつともつと当院を知ってもらいたい、我々の提供する医療や福祉をもつと理解してもらいたい、というものである。市民が理解できな



い内容やプレゼンテーションは、まさに「市民後悔講座」である。

連携室の長洞氏に音頭を取るように要請したところ、快諾してもらえた。市民の忍耐、いや集中力を考え、演題は一演題あたり20分程度とし、全四演題とした。各演題の担当は半ば自発的に、半ば強制的に決めさせていただいた。市民が「後悔」しなためには原則専門用語を廃し、噛み砕いた内容でなくてはならない。そのために関係者は相当な時間を割いて準備してくれた。演者のなかには、プレゼンテーション自体初めての者もあり、最初は「後悔必至」かと案じられた。

第一回市民公開講座は、

10月1日に大口町健康文化センターで挙行された。当院が初めて、外に打って出たイベントである。演題は池田放射線技師長が「放射線被ばくについて」、秦副院長が「脳卒中あれこれ」、土本老人ホーム太郎と花子事務長代行が「高齢化社会の医療資源の現状」、磯村リハビリテーションセンター長が「運動について」、を講演した。池田技師長は福島原発事故以来、国民の関心事となっている原発の被曝と医療の被曝について、噛み砕いてわかりやすく説明した。秦副院長は、中高年が誰でも恐れる脳卒中の基本を紐解き、土本事務長代行は、複雑な福祉施設の現状をわかりやすく紹介し、磯村センター長は、運動が身近で具体的な実践方法を示した。当日ご

参加いただいた市民のみなさんは105名に上り、みな熱い眼差しを送り続けてくれた。最初ということもあり、マイクやスライドのちよとしたトラブルはあったものの、聴衆のみなさんのアンケートからは、「公開」講座として十分な役割を果たしたことが確認された。次回を待ち望む声も多く寄せられた。もちろん反省点は多くあり、これをもとに第2回は更に改善されたものとなることは間違いない。

今回の初の市民公開講座で得られたものは、市民の満足や当院についての理解という一番の目的だけではなく、当院の各部署がみな同じ方向を向いてひとつのことをなし得たこと、そして職員が自発的に企画から練習・

本番・反省のプロセスを遂行したことである。この経験は、当院にとって掛け替えのないものであり、これから更に成長して行くのに不可欠なものとなるであろう。当院はなお一層地域に密着した総合病院を目指して邁進していくべく、努力を惜しまない所存である。

第2回は平成24年2月初旬に初回と同じ大口町健康文化センターで予定している。





## Positive mind

脳神経外科部長 前澤 聡

10月の週末の休日である。私は病院での業務を終え、午後から家族と過ごす事とした。しかし、行楽日和でどこも混雑が予想され、自分としても異動して日も浅く、環境の変化に慣れないで、あまり外出する気分でもなかった。ぼんやりとして覇気の無い私に気遣ってくれているのであろう、妻が"川に魚を取りに行こう"と急に言い出した。我一家は守山区に住んでおり、歩いて5分の所に矢田川がある。私はこの地の生れであるが、実はそんな遊びをした事は一度もない。しかし、二人の子供(上は小学6年生、下は4歳)も大はしゃぎしているので、行く事とした。既に夕方の4時であったが、まだまだ陽が高く、半袖で十分な暑さである。妻達は早速、裾をまくって川に入り、タモで小さな魚を追いかけ始めた。川の水は思ったよりずっときれいで、目を凝らすと浅瀬には小さな魚やメダカが沢山見られた。しかし魚の動きは早く、初めはなかなかうまく獲れない様子だ。そうこうしていると、長男が川辺の砂の中からドジョウを捕まえた。体長3cm程で、なかなか立派である。長男に満面の笑みがこぼれる。彼は我が家のエースだ。皆が大歓声をあげた。これを皮切りに、その付近から小魚、ザリガニの子供、ドジョウ、更に、亀まで獲れて意外にも大漁となった。本流からそれた水が砂の上に貯まり浅瀬を形成し、更に生い茂った草むらで日影となって生物の格好の生息地となっているようだ。次男も空に響くような大声をあげて喜んでいる。私は軽く安堵し眺めていたが、内心、仕事の事が頭から離れずにいた。すると妻が"パパでも獲れるからやってみて"と言った。小さい頃からやった事も無く、正直そんな気分でもなかった。しかし、子供達にも"やってみてよ"とせがまれるので、タモを持って浅瀬に入った。流れに逆らってタモを沈めながら2-3m歩くと、タモの中に小さな魚が5匹入っていた。見た瞬間、モヤモヤが晴れて心がパッと温くなるのを感じた。ちょうど陽が落ちてきて、堤防越しに見える夕焼けが大変美しく、秋のひんやりとした風が周りを包んでいた。何か自分の中で重苦しかったものが消え、清々しさを感じた。家族の嬉しそうな声が心地よく響いていた。改めて感じた事は次の3つである。どんな事にも挑戦する気持ちを持ち続ける。遠くばかりみていては、大事なものを見落とす。家族は素晴らしい。

この10月より脳神経外科部長として赴任致しました。私は平成6年に医師となって以来、様々な病院、施設で研鑽を積んで来たつもりですが、まだまだ未熟です。働いてみて感じるのは、この病院は伸びていく過程のまさに青年期にあり、自分にとっても学ぶ事は沢山あるという事です。ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

## 多くの方と接して

人事課主任 近藤 由規

人と接する機会の多い人事の仕事を通して、最近特に難しいと感じることがあります。それはコミュニケーションをとることです。これは病院内だけではなく、家族や友人、大切な人と接する際など、様々な場面、状況でそれを感じています。つい先日ですが、気心が知れた友人に何気なく返した返事で相手の気分を害してしまったことがありました。言葉が足らず伝達不足であったり、曖昧な表現で正しく伝わっていなかったという経験は少なからず誰にでもあると思います。これは十分にコミュニケーションがとれていないからだだと思います。一口にコミュニケーション能力と言っても様々な要素で構成されています。ホウ・レン・ソウと呼ばれる報告・連絡・相談もその一つですし、根回しや人付き合いと呼ばれる調整する力や想いを伝える表現力もコミュニケーション能力の一つだと思います。また、どのように話をするのか、どのような姿勢で話を聞くか、その時の表情はどんな表情なのかなど、その状況に合ったものでなければなりません。空気を読み違えてしまえば、周囲の雰囲気悪くしてしまうなど、非常に繊細なものである。自分の日頃を振り返ってみて、空気を読み違えてしまっていたり、言葉が足りなかったり、関わる皆様へ十分な配慮や対応ができませんが、今一度、人と接するための基本であるコミュニケーションを大切にして、少しでも良い信頼関係が築けるように精進したいと思います。



## 「第1回市民公開講座」を終えて…

10月1日(土曜日)に健康文化プラザ・ほほえみホールで開催しました「第1回 市民公開講座」では多くの方にご参加を頂きありがとうございました。無事開催ができ、盛況のうちに終わることができました。今後も地域の皆様に「総合病院ができること」として、いろいろと役立つ医療の情報をお知らせしていきたいと思えます。

次回は2月初旬に開催致します。日時が決まり次第、お知らせ致しますので、皆様お誘い合わせの上、是非ご参加ください。



## 第11回 「健康を守る教室」

テーマ：『予防接種あれこれ&インフルエンザの治療薬について』

&セラバンドを使用した体操

日時：平成23年11月26日 土曜日 13:00~14:00(受付12:30~)

場所：新館1F

講師：薬剤師 臨床検査技師 柏原 理学療法士 磯村

参加料：無料

お問合わせ：受付窓口もしくは医療連携室 Tel 0587-95-0015

インフルエンザの季節になりました。今回は予防接種のお話です。

予防接種をするタイミングや効果、副作用や、病気にかかったときにどんな検査をするのかなどを専門の薬剤師、検査技師が詳しくご説明をします。自分自身や大切な家族の健康を守るため、また、他の人にうつさないためにも、予防接種をよく理解して受けましょう!



※健康を守る教室の体操コーナーでおなじみのセラバンドを健康教室終了後に下記価格で販売をいたします。ご希望の方はお申し出下さい。 黄色(弱)400円 緑色(中)460円 青色(強)520円

## ● 介護について思うこと ●

有料老人ホーム太郎と花子 事務長代行 江端 崇雄

どういった介護が必要か最近考えさせられることがあります。最初は「介護」というと「大変」「つらい」「つかれる」といった肉体的なことを想像していましたが、それは実際に違っていて、本人よりも家族の精神的な負担がかなりあることに気づかされました。

太郎と花子に移動してから入居契約をするようになりました。ただ契約するだけならば用度課にいた頃の「物」についての契約みたいに、良い物でどれだけ金額面のコストを下げられるかに集中します。しかし「人」についての契約はまったく異なり、入居者本人の思うこと、そして家族が何を望んで何を一番不安に思っているかを探り出しながら、契約を行っています。入居してからもどんどん変化していきます。契約をして終わりではなく、始まりになります。これが今思う「介護」と思っています。

太郎と花子は、医療依存度の高い方の受入もしています。これはさくら総合病院という大きなバックアップがあるからこそ出来ることです。医療介護を両立できる有料老人ホームとして、そして精神面のバックアップも含め終身安心して暮らせるよう努めて行きます。



# 診療科表

平成23年11月1日現在

	午 前 9:00～12:00										午 後 5:00～7:30									
	消化器 外傷 セクター-1F	循環器 呼吸器 総合内科 セクター-1F	運動器 セクター-1F	脳神経 外科	神経 糖尿病 感染症 セクター-2F	こども 女性疾患 セクター-2F	皮膚科	耳鼻 咽喉科	泌尿器科	眼科	消化器 外傷 セクター-1F	循環器 呼吸器 総合内科 セクター-1F	運動器 セクター-1F	脳神経 外科	神経 糖尿病 感染症 セクター-2F	こども 女性疾患 セクター-2F	皮膚科	耳鼻 咽喉科	泌尿器科	眼科
月	○	○	○	○	○	○ 受付 11:45迄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
火	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ 18:00～ 19:30	○ 18:30～ 19:30	○	○ 17:30～ 19:30	○	○
水	○	○	○	○	○	○ 9:00～ 11:45	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ 17:30～ 19:30	○	○
木	○	○	○	○	○	○ 受付 11:30迄	○	○	○	○	○	○	○	○	○ 18:00～ 19:30	○ 18:30～ 19:30	○	○	○	○
金	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ 18:00～ 19:30	○ 18:00～ 19:30	○	○ 17:30～ 19:30	○	○
土	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○			
日	○	○	○ *1																	

- ※1 休日もごさいます
- 診療時間に関しては受診されます診察科目により異なります
  - ご不明な点がございましたら職員に確認してください
  - 診療日が変更になる場合があります。ご了承ください

**機関紙** 発行 医療法人 医仁会 電話 0587(95)6711(代)  
**human ヒューマン** さくら総合病院 発行年月日 2011年11月1日  
 No.235 丹羽郡大口町新宮1-129 発行部数 350部